

OS交配

●ハウス● 2月～8月播き ◎雨よけ・夏穫り・抑制

キュウリ

極早生
省力

カレラ

暑いときでも良果がドンドン穫れる(単為結果性が極めて高い)褐斑病に強く、流れ果・尻細果極少ない



早播き抑制栽培に最適
肥大早い
日焼け果の出にくい品種



株式会社

埼玉原種育成会



OS
交配

カレラ

特性と栽培のポイント

特性

暑いときでも、流れ果・尻細果の発生が少なく、良果がドンドン穫れる。
(単為結果性が極めて高い)

| | |
|-------|---|
| 播種期 | 2月～8月播き 雨よけ 夏穫り 抑制 |
| 雌花着生 | 主枝は、2月～5月播きで70%～80%、6月～8月播きで40%～50%。 側枝以降は、雌花の連続性は高くなる。1～2果成り。 |
| 収量 | 果実肥大のテンポが良く、収穫期間を通じて安定しているため、総収量が多い。 |
| 草姿・草勢 | 側枝の発生は確実で、孫枝以降はしっかりとした短～中節間の枝がゆつくりと発生。果実の肥大がスムーズで常にカラツとした草姿で省力的。 |
| 果実 | 100gで20～21cm。鮮緑で光沢極良好。トゲは中位。高温時でも主・枝果は、首から尻までよく整い、肩張り・尻コケ果が極少ない。果ヤケの発生は、殆どない。歯切れ良く食感良好。 |
| 耐病性 | 褐斑病に対して強い耐性を持つ。 |

栽培のポイント 初期の樹作りをしっかりと行う。

育苗

- 鉢育苗ではリン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- 最適台木は、OS交配ゆうゆう一輝(黒タイプ)が良く、高い生産力を発揮させる。

植え付け本数

- 節成り性が高い品種であるが、あまり密植しない事がコツとなる。3.3㎡あたりなら4～4.5株程度。

施肥

- 元肥は、量や質を一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壤検定による施肥設計を行うと良い。
- 追肥は、通常早めが良い。生育振りにも依るが収穫しようとする果実の開花より4～5日後、抑制では主枝の摘芯時等が追肥始めの目安となる。10aあたりN成分で1kg位を5～7日おきに施用すると良い。

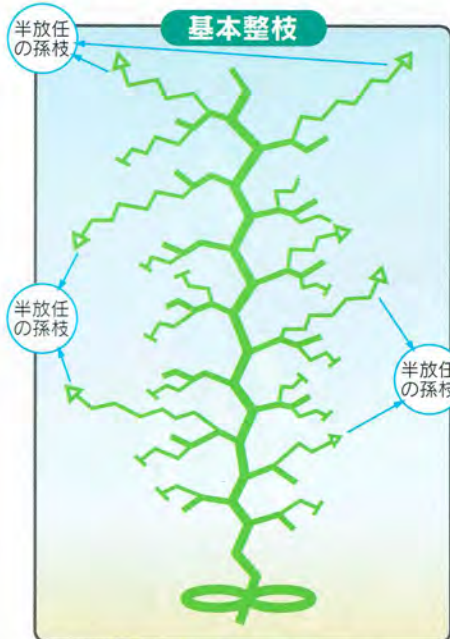
灌水

- 定植2～3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。定植後乾き易い抑制では、根量が増え日々生長が活発になってくるまでは多めの灌水をする。各作型とも旺盛に生育できるように活着後も水を余り切らさず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズに行くよう適宜灌水していく。

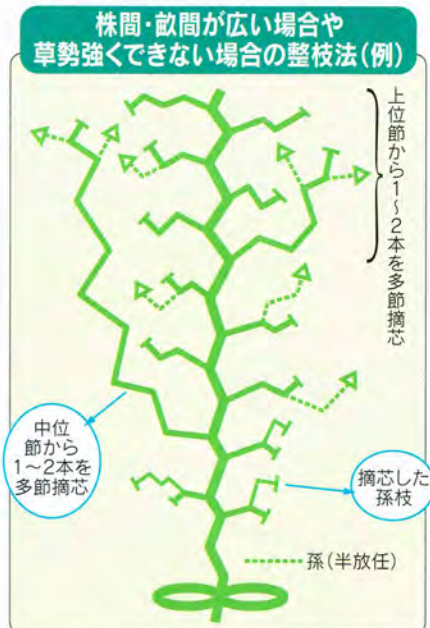
摘葉及び整枝法

- 収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や込み過ぎた部位を一回あたり1～2枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に亘り収穫果が見え隠れする程度に整える。

※草勢が弱ったときに、早摘みをしないこと。
※抑制では、特に後半の保温をしっかりと対応する。



①側枝は下節位を1節、中～上位節を2節で摘み、孫枝を半放任とする。



②中～上位節から発生してくる側枝を機械的に1～2節で摘芯せずに、3～4本は多節摘芯(3～5節)とし、早めに株の立体作りを目標とする。

※収穫開始頃から、それ以降発生する側枝・孫枝は、半放任する。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社 シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407